



93年 4月25日

No. 98

東京都腎臓病患者連絡協議会（東腎協）  
事務局・☎171

郵便振替口座

FAX

昭和四十六年八月七日第三種郵便物認可  
一九九三年四月十三日発行  
号（毎月六回）の  
の日発行

- ◎特集 腎バンク登録..... 3
- ◎なかまのたより..... 6
- ◎会員さん訪問（49）高橋利江さん..... 12
- ◎スタッフ訪問⑤ 俣森利津子さん..... 14

●おもな記事●

- ◎体験的5分間クッキング..... 16
- ◎私のふるさと⑥ 本間正良..... 17
- ◎東腎協第21回総会開く..... 18
- ◎事務局から..... 24



都立石神井公園（写真・本間正良）

# リレー・エッセイ

## 透析人生を支える第二の糧

調布東山病院 吉田 英和

私は築地の病院に週一回の通院検査をしていたが、過去の無理が重なったためクレアチニンが六・四に上がり、ドクターから「もう透析だな」といわれ、帰りに書店により腎臓病に関する数冊の書籍を購入。遅まきながら病いの知識を学んだつもりであったが……。

やがて入院。初め三時間に及ぶ透析時間の長いこと。この透析時間をうまく利用して本を読もうと気づき、約百冊の本を購入し読みふける。



内シャント手術も終わり、約三週間で使えるようになったので、二カ月半の入院も終わり退院、他の病院に移る。

この間家族の心配、苦労は大変だったと思う。久しぶりの会社出勤である。一週間は体の調子を見るため午前中だけにし、病院でのリハビリの成果もあって、元の体調に戻るのも意外に早く、透析日は午後二時半までとし、他は平常勤務とするようにした。だが、これからは大変だった。というのも新職場（管理課）の年間計画、と同時に長期（五・六年）の進行状態等、計画通りに行くのかどうか把握できていなかったのでは？

努力の結果、仕事も計画通り順調に運び、約七年素地を作り、後輩に任せりタイアする。

東腎協常任幹事として患者会の

仕事をしようになったのは、平成四年四月からである。

私の心境の変化になったのは、微力ではあるが今まで培った事を同じ患者の立場から少しでも役に立ちたい。と思ったからで、初めのうちは、行政機関の厳しい環境患者会はどうあるべきかなど、すぐ反応しなかったのを、森、草間両氏のよき指導によって勉強も出来、やっと人なみの発言が出来るようになった。

この間、機関誌「東腎協」の編集員として末席を汚し、国会請願、都議会議員や東京都関係部局に対する陳情、要請活動もした。また腎臓病を考える都民の集い、腎キャンペーンその他に参加し、数多くの腎臓病患者たちがお互に助け合い協力し合っている姿を目の前で見ると、身の引き締まる思いがした。

私も透析を始めてまだ八年目であるが、月、水、金曜日の午前中と、火、木、土曜日が自由な時間であり、この曜日を仕事の日としている。日曜日は原則として常任幹事会、その他に当てている。

常任幹事会のメリットは、色々の会議、要請活動に参加して得る人間性、その他の事で勉強し学べる事である。

また趣味としては、野に山に出かけ自然の植物を観察し散策する事であり、もう一つはプログラムとしての勉強のため、書店に行けば必ず多種類の書籍を数時間見ながら試行錯誤している。そして帰り時には、最低一回はお茶を飲みながら一時間位音楽を聴く楽しみであると思う。この様な事出来るのも家族の理解があつての事であろうと思う。

今年は事務局次長として精力的に活動していた石川みささんの悲報もあり、仲間を失った寂しさは私たちの頭の中からなかなか消えない。皆さん、体だけはいたわろう。私も自分の体調とも相談しながら時間が取れる限り、東腎協、いや患者会のため活動を続けて行くつもりである。

特集

# 腎バンク登録

## 多くの患者が腎移植を待っている

Gift of Life  
MEMBERS INFORMATION CLUB

※ 1993

ほくも持っているよ  
ドナーカード



腎臓移植普及会

現在の献腎登録者数 **三十七万名**。

日本の人口に対するとあと **百倍**の登録者が必要なのです。

毎年、新たに透析にエントリーされる方が **八千名**。

移植を待ち望んでおられる方がおおよそ **三万五千名**。

にもかかわらず、一年間(1992)の死体腎移植数は  
わずか **二百六例**。

伸びざかりの子供の身長を止めることのないように、

女性が結婚して子供が生めるように、

男性が職場で存分に働けるように、

透析から開放されて **移植**へ、

新しい扉を開くために力をかして下さい。

どうか、一人でも多くの方に語っていただきたい。

どうか、一日も早く腎不全と闘っている方々を救う

手助けをしていただきたい。

心から心へ、人から人へ。

私たちは、貴方を待っています。

## 家族登録の運動

全腎協では一九八八年七月の事務局ニュースから十数回にわたり「家族の腎バンク登録を」をキャッチフレーズにキャンペーンを繰り広げました。翌八十九年度から全腎協の活動方針の重点目標に「患者家族の腎バンク登録運動を進めます」が加わりました。

この家族登録の運動は、私たち透析者が率先して家族、親戚などに腎臓提供登録を呼び掛け、登録数を増やすと共に、腎登録の大切さを一般市民に訴えることから始まりました。

昨年十月より東腎協加盟患者会に連絡をし、家族登録の取組みを進めています。現在のところ三十人の登録に留まっています。編集委員会では「家族登録が進まないのは何故か、登録を進めるためにはどうしたらよいか」などを検討するため常任幹事（二十六人）を対象にアンケートを実施しました。

### 家族登録の運動は必要

家族登録を会員家族に進めた人は回答二十人のうち十三人でし

た。「どのように話しましたか」の問には

- ①現状のドナー不足を訴えた。
- ②病気のこと、移植のこと、移植に関しての現在までの状況。
- ③会ではこのような運動をしていることを訴えた。

④社会復帰を目指している人を助けて欲しい。  
 など、実際に自分自身に知識がないために思うように進められなかった人が多くみられました。

## 家族の腎バンク登録を

登録の必要性については回答のあった二十人全員が当然必要である。大いに結構であるということでした。

しかし、移植に関しては難しく、移植を必要としている人が数多くいるので提供者の確保が必要。したがってこの運動も必要という考えの人が多く見られました。「なぜすすまないのか」との間では

①家族といっても強制できるものではない。登録には本人の納得が

必要。

②健康者の死後などで家族に話づらい。会員のなかでも死後の話はタブーとなっています。

③一般会員のコンセンサスを得るためには運動が不足しているように思われる。

④こちらの誠意の問題で本気になって話せば聞いてくれます。などがありました。

「この運動をどのようにすすめればよいか」の間にたいしては①積極的なPRを会として進める

る。  
 ②先にテレフォンカードを渡す。☆現在は登録をしてくれた方にテレフォンカードを渡している。

③早急な登録の増加は望まず、長い目で地道に続けるべきだと思います。機関誌に一行広告のような形で毎号掲載とか。

④常任幹事だけでも実践し、家族にアタックしてみる。そのなかから幹事にもアタックする

気持ちは生れてくると思いますが、

の回答を得ました。

### 3月の登録者大幅増

脳死などの問題とかいろいろと難しい問題があり、なかなか一般の登録も進んでいないのが今日の現状ですが、運動を進めることにより着実に登録が増えていくことは事実です。三月の東京の登録者数は一七四人で過去数年は百人前後であり、大幅に増えています。

### 腎臓提供登録の仕方

登録は、献腎登録申込書に必要な事項を記入するだけでOK、検査などはありません。

登録された証拠として、腎臓移植普及会より「腎臓提供者カード」が送られて来ます。

年齢は、満十六歳以上、六十五歳くらいまで（くわしくは事務局三九八五・七九〇まで）

## 腎移植希望者の願いを満たすため には四千万人の登録が必要

社団法人・腎臓移植普及会

専務理事 小川 進一郎

ただいまご紹介いただきました腎臓移植普及会の小川でございます。本日は総会にお招きいただきまして誠にありがとうございます。

普及会はどういうものかと申しますと民間の完全なボランティア団体です。腎臓病に困りの患者さんを一人でも多く、移植によって救ってあげたい。社会の復帰をさせてあげたい。これが目的で現在活動をしている団体です。

ですから国の団体であるように



小川専務理事

とらわれがちですが、あくまでもあちこちから寄付をいただきまして、移植を一人でも増やすことについて運動をしている団体でございます。

さて、日本におきます移植の状況でございますが、一昨年の死体腎移植というのが二百六件、前年が二百四件と年間で現在のところ二百件ぐらいいしか行われていないわけです。

他面、アメリカにおきます死体腎移植は大体年間八千件でございます。この差というのはどこにあるのか、一生涯命に運動をしますけれども、現況は大変厳しい状況でございます。

しかし、悲観ばかりしてられないので、厚生省、日本移植学会、全国の腎バンクが一体となりまして移植についての推進をアメリカ並みに出来なかつたかというところで、今、一生涯懸命動いています。

ちょうど一月時点の全国の腎バンクの提供登録者は三十七万人を突破しました。ただ残念なことに二百六件の移植をした実績の中で、登録者からの提供はちよつと少ない。なぜ少ないと申しますと三十七万人の方は現在、健康で生活をしていただいているわけです。あくまで亡くなったときに提供していただくというのが死体腎移植でございますので、亡くなった段階でいただくということがどうすれば増えるかということを考えますと、約百倍の四千万人の方から提供いただかないと、アメリカ並みにはいかないのではないかといいことです。

### 免許のときの 登録など要請

そのためにはどうしたらいいかということでは現在、行政の方へ運転免許証、場合によりますと健康保険証、それからアメリカ方式に自由配付するというようなことを何とか出来ないかという形をお願いしてございます。実現までにはまだ若干時間がかかるかもしれませんが、そのような方向で動いていることは間違いございません。

東京都におきます登録者でございますが、現在、一万八千人ぐらいいでございます。長野県が大体、五万五千人、それから比較致しますと二百二十万人の人口のところ一万八千人というところは〇・一五%、全国の平均が〇・三%でございますので、全国の平均の半分が東京都であるという形で、都民の方が決して冷たいわけでもないんですが、まだまだ増やすというところが必要であると痛感しています。

東腎協さんの本年度スローガンを拝見致しますと腎移植の関係のこと、登録者の拡大が入っています。三十代、四十代の方の大体六〇%から七〇%は移植をしたいというような希望があるように、全腎協さんからは聞かれています。そういう方たちは社会復帰が移植でできますので、私も一人でも多くの患者さんを移植できるように頑張りますので、皆様方のご協力をお願いしたいと思います。

東腎協さんをはじめ皆様方の今後のご発展をお祈りしてご挨拶にかえさせていただきますと思います。どうもありがとうございます。

(第二十一回総会あいきつより)

# ななまの たより

会員の皆さんから原稿を募集しています。うれしかった事や悲しかった事、苦しかった事などの闘病記、ひとり言やカット、写真などなんでも気楽にかいて事務局へ送って下さい



大館康雄さんと石田恵子さん

誠におめでたい事です。お二人の前途を祝し、腎友会を誕生させた活躍を生かしてあらゆる困難を乗り越えて互いに助け合い立派な家庭をつくり、ひまわり会の運動を高一層の活躍を期待致します。また、全国の若い会員皆さんも勇気を出して勢動的に会活動に参加

またまた、  
2組めの、  
カップル、誕生

多湖ビル診療所ひまわり会

飯塚 行雄

東腎協、九二年(九十一号)に掲載させて頂きました、会員の中西君と福島正江さん第一号のご披露致しましたが、昨年十一月に第二組目のカップルが誕生しましたので、ご披露させて頂きます、ひまわり

り会の前の名称、三井クリニック腎友会を結成するのに尽力された、大館康雄君と石田恵子さんが、めでたく結婚致しました。

大館君は透析歴二十年、石田さんは透析歴十三年です。

二人は昭和五十八年の第一回三井クリニック腎友会の総会で大館君が事務局長に就任し、また石田さんは会計を担当し会活動に活躍し、私を助けて会員の親睦を深め勉強会や旅行と会の運営に尽力して

いるうちに二人の愛が芽生え、平成四年十一月に、めでたく(ゴールイン)結ばれました。

加しその仲から愛を見つけ一組でも多く結ばれる事を期待致します。

桜前線 姪に在り

あけぼの友の会

東野 榮夫

春麗らかな陽気になり、二階の窓から外を眺めていると、淡いピンク色の懐かしい塊があちこちに、遠く点に見え。

今年も、待ちに待った桜の花がやっと開花したようだ。例年より若干早いようだ、まだ三分から四分咲きで、幹や枝の茶色がよく目立っている。

桜の花は、毎年必ず三月末から四月上旬にかけて、厳しい冬の寒さに耐えて開花するが、桜前線が上昇して来て、テレビのニュース等で報道され、明るい話題になるたびに、今年も暖かい春がやって来た

と、私なりに実感し、身にしみる思いである。川崎市にかわいい姪が居る

が、生まれて時が経つのは早いもので、今年四月でも小学三年生になる。もう何でも判り、大人顔負けに対話し、昨年からの愛用の赤い自転車に乗って、近くのスーパーに買い物もお手伝いする。

私は時々お邪魔し親しくしているが、姪の著しい成長には、毎回ビックリさせられるが、妹の嬉しい母親の笑顔が、いつもそこに在る。

大阪にも立派に成長した甥と姪が居るが、やはり近くに居ていつも会っているせいか、感心に学校の行事がある度に電話して来れるが、何より嬉しいことだ。

私は毎年、両親と一緒に花見を何回か必ずするが、どう

もこのかわいい姪と桜の花の  
思いが、二重、三重に重なる  
感じである。

透析して十七年近く経つ  
が、今ではこの姪が進学する  
度に思うことだが、桜が見事  
に満開に咲き春が巡って来  
て、やっと一年無事に過ぎた  
と思う次第である。

中学に進学した時、透析も  
二十年を通り過ぎ、華やかな  
高校入学で西暦二十年を迎  
え、私が気付いたとき二十一  
世紀を迎え様としている。こ  
の思いは大変嬉しく有り難い  
事で、姪に感謝したい。

願いがかなえられる事を夢  
見し、今年も花びらがこぼれ  
んばかりに満開に咲いた桜  
を、沢山見たいものである。

### 「あゆみ」を読んで

「あゆみ」ありがとうございます  
います。二十年というのは本  
当に長い日々です。頭が下が  
ります。(田辺功)

このたび東腎協二十年誌送  
付していただき誠にありがと  
うございました。東腎協の創

立から今日までの二十年、ご  
苦勞されたことが一目瞭然で  
わかります。

(富山腎友会 桑島健)

このたび「あゆみ」をご寄  
贈いただきありがとうございます  
ました。ご寄贈いただきました  
貴重な刊行物は、当協議会  
資料室に常備し、東京二十三  
特別区等の調査研究の資料と  
して、広く活用させていただきます  
ます。

ここに厚く御礼申し上げます  
とともに、今後も地方自治  
関係資料を刊行されました際  
には、ご協力くださいますよ  
うお願い申し上げます。(財  
団法人特別区協議会資料室)

### 写真ありがとうございます

暮れに祝賀パーティーのス  
ナップをお送りくださいまし  
てありがとうございます。  
より記念になると存じます。

昨日は病友の死去、その告  
別式、人生の常とは言え、や  
はり何とも言えない気持ちで  
す。  
幸いアータは良好です。四

月に満八十歳となります。体  
力がめっきり無くなり、やは  
り年かなと思えます。会務、  
ご苦勞様です。一月六日

(白井次郎)



写真右が白井次郎さん

### 入会しました。

よろしく

早速、資料をお送りくださ  
いまして誠にありがとうございます  
いました。西八王子松村クリ  
ニックでは開院一年目にして  
ようやく名簿作りにとりかか  
りました。

患者会として運営するには  
少し、時間がかかると思いま  
すが、来年度は東腎協に加入  
できると思います。今後とも  
よろしくお願いします。

(村山恵子)  
☆松村クリニックさくら会と  
して東腎協第二十一回総会  
で二十名が入会しました。

### 総会から

#### 募金の東腎協納入

比率を考えてみては  
東腎協予算が赤字会計予算  
となったことについて一つの  
提案がありますので、聞いて  
ください。

現在、国会請願募金を毎年  
集めています。その募金は  
全体の六割を国会請願募金と  
して各患者会より東腎協に納  
めていますが、残り四割が  
各病院患者会の会計に入っ  
ているかと思えます。この四割  
を少し考え直したらと私は考  
えています。

なぜなら国会請願の要望案  
として皆様に募金していただ  
いているのであって、各自の  
病院の会費なり、その他で利  
用されるのが目的ではないか  
らと思うからです。私の計算  
では十割全部の募金を集めた

としたら六、二一九、五八三  
円となります。もう少し比率  
を考えてみてはと思えます。  
外側から見た感じで申しま  
したが、私の意見として申しま  
した。よろしくお願いします。  
皆様頑張りてください。

(匿名)

#### 年をとっても

#### 「気力」で

作成病院フェニックス会  
中安 恵子

①今日は皆様ご苦勞様でし  
た。患者さんの質問が多くて  
大変だったと思いますが、私  
はためになりました。

一つだけ同じことは、新し  
い患者さんが透析を受ける  
と、「かならず」患者さんに  
東腎協のことを話をするの  
ですが、作成病院は導入期の  
患者さんが多いので、「会」  
に入っても他の病院に移っ  
てしまうので、人数が少なく  
なってしまうのです。

でも私は負けずに、新しい  
患者さんに声掛けはしていま  
すし、これかもして行きたく  
いと思えます。

②小椋先生のお話は、早くお話をしていくので、私の頭にはついていきませんでした。もう少しゆっくりだといのになあと思いました。本当にありがとうございました。

午後から熱くて、怠かったです。

③良く患者さんは若いんだとか、年だとかいいますけれども私は関係ないと思います。年をとっても頑張っている人もいますので、「気力」だと思っけています。



20周年祝賀パーティーに出席した中安さん(写真右)

## 健常者とは同じようにはできないが 健常者では知り得なかった事がある

嬉泉病院ニレ友の会 岸 文子

いきなりですが、話は去年の事になります。昨年は、東腎協の二十周年でした。

東腎協幹事の皆様にとつては、大変忙しい一年であった事と思います。

私は、この二十周年行事の二つに参加させて頂きました。

一つ目は、九月二十七日山サンプライズ体育館で行われた「大塚ゲーム大会」でした。子供達が、成人してしまつた今日、この様に、体を使つてのゲームなどというものに縁のなくなつてしまつた私には、この楽しさは久しぶりのものでした。

「ラジオ体操第一」の音楽が、鳴り始めた時には、「どうしよう」と思いました。

「体が動くかしら」、「覚え

ているかしら」……。

心配りません。不思議と

体が、音楽と共に動いて行くのです。

何年ぶりでしょう。ラジオ体操なんて！ゲームも楽しいものでした。

いいですね、こういうのは、敵も味方もありません。誰でも仲良く笑顔で話せるのです。終つて別れる時には、「元気で、又逢いましょう」。

どこのどなたか知らなくても、皆、仲間なのですから

……。

そして行事の二つ目は、十



一月二十九日、アルカデア市ヶ谷での、二十周年記念パーティーへの出席でした。立食パーティーでしたが、百五十人位、いらしてたでしょうか？ 私としては、よく食べました。よく飲みました……。

そんな事は、おきまして。ここには、歴代の会長さんの奥様方が、数名、いらして居り、我ニレ友の会の会長

でもありました、故玉生会長さんと、故石川会長さんの奥

様に、お逢い致し、それぞれ、御主人の生前のお話を久しぶりに聞く事ができました。立派な会長さんでありました事を喜びました。

又、透析二十年以上の方の紹介、その元氣な姿を拝見し、何となく嬉しくなりました。

シンセサイザーと三味線などの演奏があり、ますます、和やかな雰囲気です。

シンセを演奏している、若い方は、大学院生で、透析二年という事、顔は生き生きととても透析患者には見えませんでした。

最後に、「富くじ」の抽選

がありました。私は、二枚買ったのですが……、金魂は無理でも何か一つ位は、と期待したのも、夢で終わりました。ニレから四人出席していたのですが、誰もが、結果は残念でした。

### 皆さん元気で明るく

しかし、これが、透析患者の集まりなのだろうかと思える程、皆さんお元気で、良く食べ、良く飲み、明るく笑顔で、冗談もあちら、こちらで飛び交い、本当にこの一時を、精一杯楽しんでるという感じでした。

私も、思わぬ所で、思いもよらぬ、楽しい数時間を過ごす事が出来ました。

準備して下さつた幹事の皆様、本当に御苦労様でした。御苦労様と言え、もう一つあります。

二十周年記念誌「あゆみ」です。

これをばらばらとめくり、ざつと目を通して、「はい終り」ではなく、じっくりと一頁一頁かみしめて読みたい本



だと思えます。

「命と暮ら」を守る為に、先輩達が、この二十年、どれだけ情熱を傾け頑張ってきたか、一言では言い表わせない苦勞のあった事を分らないと思うのです。

又「十年前と今を生きる」、そして「わたしの闘病記」も、ろなすぎながら読み終えました。

そして、深い溜息……。

皆それぞれあって、頑張っている、生きているんですね！

健常者と一緒に生活している日々、健常者と同じ様にしているつもりで、出さない、いらだたさ、口惜しさ、いろいろあります。

でも、又、健常者では、知り得なかつた事、他人（特に、年寄り、障害者）への思いやり、優しさなど、私自身以前よりは、少なからず、持つことが、出きたのではないかなと思えます。

「あゆみ」は、いろいろ考えさせてくれる本でした。

(「二ーレ友の会機関誌」「みちるるべ」より)

### 参加してよかった。

#### 国会請願行動

森山病院友の会

森田 広明

朝方の曇り空も晴、桜の開

花日和りの三月二十五日、初めて経験する全腎協国会請願行動に参加し、東腎協先輩役員会の指示に従い、十時三十分開催の集会場第二議員会館第一会議室に入室しました。

驚きと同時に熱気あふれる

雰囲気胸の熱くなるのをおぼえ、北は北海道、南は沖縄

まで、すべての地域代表者の

「やるぞ」腎対策請願の意気込み、我が東腎協も泉山会長始め十五人参加、今や遅しと胸をときめかせ待つこと数分。

やがて声の透る全腎協事務

局長の小林さんの司会で始まり、国会議員二十一名、議員秘書五十一名の参加の中、各議員さん方より選考への理解と行政支援を約する激励の挨拶がありました。

全腎協結成第二十二回目の

請願集会にふさわしい盛り上がりで、全国一万二

千人を超える透析者を代表する役員の方々の苦勞と各政党会派の議員さん方、ここまで運動されてきた二十二年間歴代役員さんに頭の下がる思いでした。

このような運動が

なされていたればこそ今日の透析医療、福祉等推進されたことを肌で感じ万感の思いでした。

また、全腎協副会長の小関

さんの請願趣旨五項目の説得力のある説明に心打たれ、参加者のうなずく姿も数多く見られ、参加させていただき私自身貴重な体験と心をあらたにしたところです。

集會もどきどきより十二

時過ぎに終了、午後より地域別に各議員さんに請願署名の紹介議員をお願いする行動に入ったのですが、東腎協は三班に分かれました。

私は森事務局長の班で、森

さん、畑常任幹事の指示を受けながら各議員会を訪問、当日は各委員会が開かれており、秘書の方がほとんど、それでも森事務局長の請願説明を熱心に聞き、快く署名を受けとつてくれる光景に安堵と感動の交差が身にしみ、私たちの請願受け持ちが終わったときには肩の重石が「すーっ」とおちる思いでした。

本当に参加して良かった

し、これを踏まえて患者会活動に自分一層懸命に取り組まねばと自分自身に言い聞かせながら帰宅の途に。請願行動

に参加して私の率直な感想を書いてみました。先輩役員の方々の皆さま大変お世話になりました。

### 表紙のごとび

石神井公園と三寶寺池は、新東京巨景に選ばれた都立公園で、西武池袋線石神井公園駅の近くにありす。石神井池では貸ボートをこいだり、魚釣りを楽しむことができます。

池の周囲では、遊歩道でジョギングや犬を連れて散歩する人もいます。三寶寺池は武蔵野の自然が残っていて、池で見られる鳥の種類が豊富であり、歩きやすいように木道が整備されていて、手軽に野鳥の観察を楽しむことができます。

(本間)



泉山会長(中央)熱っぽく請願のお願いをする

# 私の雑記帳

## 卒業式、入学式

冬から春への衣替えの季節は、毎日変化が激しい。梅の花が散ったかと思うとこぶしの白い花が咲き乱れ、桜の蕾が大きくなったと思つたのもつかの間、その翌日には開花して一週間もすると満開になる。そして、あつという間に散り葉桜になっている。自然界だけでなく人間の世界もまたこの季節は何かと変化の多い季節である。卒園、卒業、入園、入学、入社がある。新たな世界に向かって飛び立つ時である。

私の二男も小学校を卒業して中学生になった。卒業式に出席したが、生徒一人ひとり緊張した面持ちで卒業証書をもらい、感慨深く

涙ぐんでいる生徒もみられた。ある来賓の人は「私が小学校を卒業する時は、女生徒は看護婦さん、男子は軍人さんになるのが夢でした」と平和の尊さをとくとく述べられていた。

一人ひとりの生徒は卒業証書を受け取ってから、中学になってから、または将来の希望を述べていた。男子は勉強を頑張るといってプロサッカーの選手になりたいというが多かった。プロ野球選手というのはたつたの一人。それを聞いて、プロサッカーの人氣がますます高まり、プロ野球の人氣を追いつくのは時間の問題ではないか、とさえ思えた。プロ野球も長く嶋巨人人氣に有頂天になっていて

は虎穴を掘ることになるだろう。

中学校の入学式は、校長先生が「馴れる」と「慣れる」という言葉についてこんな話をされた。中学校生活には自然と時が経てば馴れるだろうが、あなたたちに期待するのは自ら目標を持ち、それを貫き通す慣れを養って欲しいと。私もこの言葉を聞き、「馴れる」のではなく「慣れる」人になりたい、と思つたのだ。

### 栗原美さんのこと

木々が一斉に芽を開き、花を咲かせ、萌えるような季節が始まろうとしているのに悲しい別れがあった。

一人は私の所属する代々木病院腎友会の会長を長年務めていた栗

原勇さん。東腎協の「二十年誌」に原稿も寄せてもらった。全腎協んの結成総会があった一九七一年六月六日、大手町の都立産業会館で栗原さんは透析前のつらい身体をおしてこう発言している。「病人が病氣である間は、安心して治療に専念できるようにしてほしいと切に思います」。

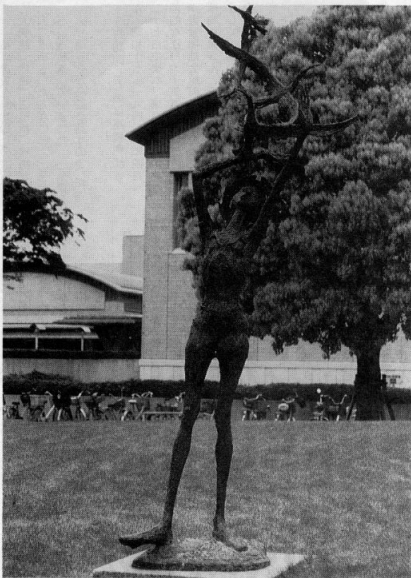
常に冷静な目で患者の置かれていた状況をとらえ、折りにふれ警告を発している。腎友会の総会を兼ねた新年会で透析二十年を祝い花束を贈られたお礼の言葉の中で「二十年を迎えられるとは思いませんでした。最近の透析医療費自己負担導入への動き、診療報酬の引き下げにより透析施設の縮小・閉鎖なども予想され、気をつけたいと二十年前のように金の切れ目が命の切れ目になりかねない」と厳しい見通しを話している。

栗原さんを偲ぶ会が三月十四日、自宅（所沢）近くの集会所で行われた。幅広く活躍した栗原さんの生前の人格が多くの人によって語られた。長年勤めてきた会社を定年をやめ、これから好きなことをやろうとしていたのに残念だったに違いない。

●冬から春への衣替えの季節に―悲しい別れ―栗原、石川さんのこと

## 石川みさざんのこと

もう一人は東腎協の事務局次長だった石川みさざん。いつもニコニコと明るい笑顔で多くの患者に好感を持たれていた。石川さん自身も「あんまり怒った顔していて



世田谷美術館

もいけないから無理にもニコニコしています」と東腎協の「十年誌」の座談会でこう述べている。石川さんは、三年近く長い入院生活を送っているのだが、自分自身にむちうって病気を克服しようと努力してきた。他人思いのやさしい人

でもあった。東腎協では常に表舞台に立つことなく裏方に徹していた。特に石川さんの本領が発揮されたのは、「東腎協」「全腎協」など機関誌の発送業務。役員が二人でやっても追いつけないほどのピカ一

腕前だったそうだ。前号の「東腎協」で石川さんは昨春秋の東部ブロックの旅行で自分の故郷である茨城県那珂郡那の袋田の滝に行けず残念だったと書いている。機会があったらみんなで行きたいという願いにもむなしく永遠に実現できなくなってしまう。

三月六日の告別式では誰もが突然の訃報に驚き、悲しんだ。

栗原、石川さん、天国では安らかにとお過ごし下さい。もう病気の苦痛はないでしょうか。

## 引越してギツクリ腰

長年住み慣れた公団住宅から引越しをした。とにかく引越していろいろのは疲れる。荷物を全部段ボールに詰め込む作業を日曜日の度にやった。引越した当日、重い荷物を持った訳でもないのにギツクリ腰になってしまい、一―二日間悲惨な目にあってしまいました。痛みがあつて起き上がるのにもまままならない。その時、改めて身体に障害があるって大変なことなんだな、としみじみ実感できたのだ。

一九九三年 春

(「東腎協」編集委員)

「私が透析を開始したのは昭和四十六（一九七二）年十一月、日大病院（板橋）に透析の機械が二台しかなく『若くて子どもがいるので透析をした方がいい』と言われて…。何が何だかわからないうちに透析をしていました」と高橋利江さん（五十一歳）は、当時を振り返りながらこう話すのです。

今日訪問したのは高橋利江さん、昭和十七（一九四二）年四月

二十七日生まれ。東京生まれの典型的な江戸っ子気質の人。三田の障害者福祉会館前で事務局次長の草間和さんと三人で待ち合わせをして、隣の港区勤労福祉会館で話を聞きました。

#### 発病→透析まで

小学生の時に扁桃腺がはれ高熱を出したくらいで中学・高校と健康で休むこともなく学校生活をエンジョイしました。高校を卒業すると自宅で父と兄が経営するレストランでウェイトレスとして働き始めました。

一九六五（昭和四十）年、二十三歳で結婚。繊維関係の問屋を営む嫁として嫁ぎました。同時に従業員としても働き始め、社会保険にも加入しました。しかし、順調にもみえ結婚生活も僅か三年余で暗雲が立ち込めたのでした。

高橋「昭和四十三（一九六八）

年扁桃炎で寝込んでしまい、一週間経ったら膀胱炎になっていました。近所の医者に行ったら血尿が出ていると言われました。血尿は治ったものの蛋白尿は消えることなく出ていて、そのうち慢性腎炎になっていと言われたんです」



一九六九（昭和四十四）年九月帝王切開で長男を出産。子どもはすくすくと順調に育つていきました。が、本人は一九七〇（昭和四十五）年胸が苦しくなり、紹介された病院に入院。腎臓病が悪化していました。殆ど治療といった治療はなされませんでした。十月月間入院していましたが、周りの腎臓病患者は次々と亡くなっていくのを目の当たりにします。

一九七一（昭和四十六）年春、

板橋の日大病院に転院。しかし、「命はあと三カ月くらいしかないので家族と一緒に生活した方がいい」ということで一時退院、殆ど寝たままの生活で食事療法と安静を半年間強いられました。幼い子どもは夫と夫の両親とで面倒をみてもらいました。

#### 透析以後のこと

その頃、事務局次長の草間和さんも日大病院に入院していましたが、草間さんが入院していたのは一九七〇（昭和四十五）年四月九月、まで。一緒に入院していた東腎協の故宝生和男元会長らと腎臓病の患者組織「二一レ友の会」を結成、全国的な組織（全腎協）を結成させようとの運動を進めるがかわら院内で病院と交渉し、腎臓病患者の身近な要望を実現させていました。

高橋「病院に機械が二台しかなく『若くて子どもがいるので透析をしたら』と言われて透析を始めたいの。何が何だかわからないうちに透析をしていたのね。」

入院した時は透析患者専用の部屋は三人一室で、差額徴収はありませんでした」

草間「それは日大病院が腎臓病患者専用病棟であったプレハブの建物を壊す時に、新しく建設する病棟に腎病棟（男女各一部屋）を確保し、差額徴収もしないように要望し、それが実現した結果なんです」

高橋「あら私、今までそんなこ

## 会員さん 訪問 第49回

### 高橋利江さん

# 何が何だかわからないまま 透析生活に入ってしまった

とはちっとも知らなかった。私は透析だから無料だと思っていて、なんの矛盾も感じなかったんですよ。

草間「やはり患者会の存在って大きいんです」  
とにかく何が何だかわからないまま透析生活に入ってしまった高

橋さんのその後は…。

高橋「事情があつて昭和四十八（一九七三）年八月に離婚してしまつた。実家でレストランを手伝つていましたが、四年前にやめてしまつてからは、年老いた両親（八十五歳、七十八歳）の面倒（家事一切）をみています。親より先に「ちやうんじやないか」と思つたりしたんですが…。

透析に行く日（月水金）は、七時過ぎに自宅を出て八時半ごろ病院に着き透析を受けています。

古い透析仲間で女性の芳賀さん、戸嶋さん、私と三人が今も元気で過ごしているのが励み。透析を終わってから食事をしたりして話すのがとても楽しいの」

## 今までのトラブル

——透析の方は順調のようですが、今までに何かトラブルや合併症はありましたか。

高橋「昭和五十一（一九七五）年

輸血をして血清肝炎になり二カ月入院しました。黄疸が出てもう危ないって言われたこともありまして。昭和六十一（一九八六）年副甲狀腺の手術をしました。寝ていても足がじんじんだり、階段を登るのも辛くて一つひとつ登らないと歩けなかつたんです。手術をした翌日から痛みが取れ、この時の階段の登り降りが楽しくとてもうれしかったですね。

平成三（一九九一）年に右手の手根管の手術をしました。左手は外シャントをして一カ月でダメになつたけれど内シャントにしたら一回もこわれていないのが自慢ですね。

「私なんか何にもないから記事にならないのでは…」と最初に言つた高橋さん。また「余り書いてほしくないこともあるけど、みんな正直に話さなければいけないから」と言いながらこちらの質問にときどき答えてくれました。「根は明るく陽気なタイプではないでしょうか。とても透析を二十年以上受けてきた人とは思えないほど元氣そうです。これからも頑張つて下さい。（文・写真 加藤）」

# スタッフ訪問

⑤

—よりよい透析を求めて—

「スタッフ訪問」今回は、新小岩クリニック医療ソーシャルワーカー  
—兜森利津子さんを訪ね、お話をうかがいました。(金子)

## 患者さん個々にあった対応を

◆最初に通常の仕事の内容について、お話を聞かせてください。

兜森 新小岩クリニックでは、現在一六三人の患者さんが治療を受けています。患者さんの平均年齢は五十四・三歳です。このクリニックで透析を導入するということはあまりありません。

他の病院で導入された患者さんが安定し維持透析に入られた後に、転院してこられるケースが多いように思います。

患者さんが転院してこられると最初にケースワーカーがクリニックのことに説明をします。

その後に院長と部長へ紹介し、院内を案内します。

日頃は、患者さんの相談を受けたり、諸制度の説明や手続きを行ったりしています。

また、一昨年から患者さんの移動状況や居住地域の調査、透析年数、原疾患などの集計をまとめ事業報告書を作成しています。

◆患者さんが転院してこられる時には、どのようなことに注意をされますか。

兜森 導入された病院によって食事管理の指導を受けたり受けなかったり、あるいは自己管理の指導を受けたり受けなかったり、個々に違ってくると思います。

患者さんご本人や家族の方が良



新小岩クリニック

MSW

兜森利津子

注意をしています。

く理解していない時、あるいは不安な場合は、もう一度クリニックで栄養指導、服薬指導などを行っています。患者さんも個人差がありますので、焦らないで、急がないで、時間をかけて指導をしていくことが大切だと思います。

また、転院時に医療保険などの諸制度についての確認をします。あらかじめ作成してあるリストで

- ・ 病歴
- ・ 通院経路
- ・ 医療保険 更生医療
- ・ 医療費助成制度
- ・ 身体障害者手帳
- ・ 障害年金

などについて、事務とお互い連絡を取り合い見落としが無いように

## 親しまれる相談室

◆日頃患者さんからどのような相談を受けていますか。

◆障害年金の申請をされる時はどのようなことに注意されますか。  
兜森 障害年金を申請する場合、初診日が重要なので、患者さんに病歴を聞き初診日と思われる時点で年金のかけ忘れが無いか、きちんと納めているかを調べてから、医師に診断書へのデータの記入をお願いします。

病歴の長い患者さんの場合、初診日の証明が難しいケースが多いと思います。  
障害年金を申請するときは、書類などの不備で受給できないということがないよう細心の注意を払っています。



兜森 難しく判断がつかない相談から制度的なものの活用の相談までいろいろな相談を受けます。

昨年相談の統計を取って見たところ、一番多い相談は療養上の相談で三五%ありました。次が経済上の相談で二五%、次が日常生活の相談で二四%です。

療養上の相談で、治療については医師、看護婦が対応しますから、

MSWとして受けた相談としては、治療の変更、臨時透析施設など相談が多かったように思います。

その他には、医師に直接聞きづらいので、かわりに聞いて欲しいという相談もありました。

経済上の相談の中には、年金の相談や制度の利用についての相談が含まれています。

日常生活の相談の中に、患者会関係の相談も入っています。

◆ 他に、クリニックで最寄りの駅まで送迎バスを運行していますので、運行にかかわる相談を患者さんから受けています。

◆ 透析施設の場合、一般病院と違って、同じ患者さんと長期にわたり接して行くことになると思いますが、その点でどのように思われますか。

兜森 このクリニックに勤務するようになって二年になりますが、最初の頃は透析という言葉を知

っている程度であとは何もわからず、良くわからないままに動めてしまった感じがしました。

最初の頃、透析について説明を受けた時、ダイアライザーに血液がまわっているのを見た時、治療に4時間もかかることなど、見るものが、説明されること全てが驚きでした。

相談室がちょうど患者さんの休憩室と更衣室の中間にあり、患者さんが相談室の前を良く通りま

す。透析が終了した後など「疲れた」と言いながら休憩室まで来るのがやつとの患者さんがいて、そういう患者さんを見ると、本当に透析は大変だと思えます。

また、普通の病院ですと患者さんと接するのは、入院期間だけとくに問題が無ければ退院した時点で終わるように思いますが、透析のような場合、患者さんとの関わりが何年もの長い期間になるように思えます。これからはもっと患者さん一人一人と時間をとっていろいろな話をしていきたいと思っています。

透析クリニックを病院というよりは、施設というような言い方を

する方が多いと思いますが、施設という社会福祉施設を思い出し最初は、施設という言葉がなじまなく違和感がありました。

しかし、クリニックに一年程勤務した頃から、同じ患者さんが同じ曜日、同じ時間に治療を受け、それが何年もの長い間続くことを考えれば、デーケア施設とあまり変わらないように思うようになり、施設と呼ぶことも不自然ではないように思うようになりました。

クリニックに勤務するようになってまだ二年しか過ぎていませんのでこれからも、透析治療や年金問題などについてどんどん勉強していきたいと思えます。

◆ 取材でクリニックにうかがったときに、「ケースワーカーさんには日頃から、患者会の活動に良く協力していただきたいです。」と患者会の役員さんからうかがいました。また、取材の簡も、何人かの患者さんが相談室に声を掛けていかれました。

有難うございました。

## 体験的5分間クッキング ④



☆もやしとニラの中華風酢のもの  
 ○材料(二人前) もやし一袋 約三百グラム、ニラ一束約百グラム、中華たれ酢大さじ二杯、醤油大さじ一杯、ゴマ油小さじ一杯 (すっぱいのが嫌いな方はお酢の量を加減してください。ピリ辛味がお好みの方はラー油を入れても結構です)

○作り方 もやしをざるでよく洗い、手で取って(ゴミを入れぬため)煮たった湯に入れる。(ゆで方もお好みで一〜五分)ニラはそのままよく洗い、根もとを切り

落とし、三センチ長さのザク切り

にしておく。もやしがゆでたらニラを入れ、やわらかすぎないようにゆでる。この間にたれを大きな器に作っておくとよい。もやしとニラをざるにとり、水気をよく切り、(熱いのでしやもじのようなものの上から押さえ、お湯をしばらくとよい)たれの中にあけ、菜箸で味をなじませる。

さめてからでもおいしくいただけます。

☆鱧(たら)のポッシュ

○材料(一人前) 鱧一切(薄塩味のものが多い)、玉ねぎ半個、レモン輪切二枚、マヨネーズ、ブイヨンの素。

○作り方 玉ねぎの皮をむき頭と根本を取って、スライスし、カットブ一杯半の水で煮る。ブイヨンも入れておく。やわらかくなったところで、コショウをしておいた鱧を入れ、弱火で煮る。最後にレモンを入れ香りを出す。鱧の身が全体に白くなってきたら火が通ったので、あまり固く煮すぎないように火を止める。(汁が足りなくな

ったら途中で適当に水を足す)

西洋皿に鱧の身をくずさぬように盛り、上に玉ねぎをかけ、レモンを色どりに飾り、(もしパセリなどがあつたら飾ると目に鮮やかで食欲も増えます)マヨネーズを添えて食卓に出す。(千葉・K)

### 栄養士から一言

◇もやしとニラの中華風酢のもの  
 ニラはビタミンA効力の高い野菜ですが、K含有量も高いので躊躇するところですが、比較的少いゆでたもやしとの組み合わせにより特徴がよく発揮されております。しかもビタミンAは脂溶性ビタミンですのでごま油を加えることにより吸収が容易になり、繊維も摂取出来、良い料理と思います。

### ◇鱧(たら)のポッシュ

鱧はエイコサペンタエン酸(良質な脂肪酸)もふくまれ、しかも蛋白も多く有効な蛋白源です。鱧と玉葱にレモン(皮についている防腐剤を洗い流す)が加わり味がぐんと引き立ちます。食酢ではなく有機酸のふくれまるレモンを利用するところは料理に対する深い愛情を感じます。良い傾向です。

(八木由紀子)

## 東腎協では原稿を募集しています

- ◎体験的5分間クッキング(2品・800字)
- ・栄養士からのアドバイスがつきます
- ◎私のふるさと(1200字前後)
- ◎なかまのたより(800字前後)



# 私のふるさと

⑥

## 秋田県雄勝郡

大橋クリニック友の会 本間正良



本間さんのふるさと「大柳沼」

上野駅から特急列車で約七時間、奥羽本線十文字駅からバスで一時間かかってついたところが、私の故郷、秋田県雄勝郡東成瀬村です。

生まれてから中学を卒業して、上京するまでの十五年間過ごした村は、岩手県との県境にあって、奥羽山脈の山々に囲まれた静かな山村です。

村から町の方にちよつと足を延ばすと、「かまくら」や石坂洋次郎の小説「山と川のある町」の舞台になった、横手市があります。

山の方に向かうと、近くには栗駒国定公園があつて、栗駒山の山腹の須川温泉は、春から秋に架けて、春の高山植物の花々や、秋の紅葉を求めて、たくさんの方が訪れます。

冬の間の鉛色の雪空も、三月になると春の明るい日差しの日が多くなります。ひさしから下がった「つらら」から雫が垂れるようになるころ、雪解が始まります。

雪下ろしで軒下に積もった固い雪には、囲炉裏の灰を撒きます。灰が春の日差しを吸収して、雪解けを速めるのです。雪解けで増水した川の水が、茶色に濁ってくる、

四月も初めになると、土手などの雪の割れ目から、「パッケ」（フキノトウ）が顔を出します。

もう少し雪解けが進むと、紫色の可憐な「カタクリ」の花が開きます。山に目をやると、黄色いままんさくの花が一番先に咲き、次に白いコブシの花が開きます。

山桜がほころぶ、五月の連休の頃になると、春の山菜が一齐に出できます。あざみ・こごみ・うど・などです。あざみは若いうちに茹でてお浸しに、こごみは味噌和えやピーナツ和えにして、ウドは根本の白いところは、酢味噌でいただき中の太いところは煮物にして、先の柔らかいところは天麩羅や、味噌汁の香り付けにしたりと、いろいろ工夫しています。

「ワラビ」や「ぜんまい」が取れる頃は、春の山菜取りの最盛期です。「ワラビ」は塩漬けにして、「ぜんまい」は取ってきたらすぐに茹でます。それをむしろの上に広げて、日光に当て一日に二・三回手でもみながら乾燥させます。

故郷の春は、人も動物も植物も、冬の雪に埋もれていた生活から解き放されて、一齐に活動を始める楽しく、美しい季節なのです。

# 組織の強化は活動の原点

## 東腎協第21回総会開く

東腎協第二十一回総会は、四月四日、通称・箱根山の桜の満開の中、新宿区の戸山サンライズで行われ、会員家族など二百二十一人が参加しました。

午前十時三十分、糸賀久夫副会



東山会長のあいさつ

長の開会の挨拶で始まり、議長団に北爪勇(湯島腎友会、吉本養行(大山腎友会)の両氏を選出、まず、昨年よりこの総会までに亡くなられた石川みささんを始め会員の方々の冥福を祈り黙禱をささげました。

東山知威会長は「昨年は東腎協の二十周年を皆様との協力で大きな成功をおさめた。二十年前は病院に透析の機械を寄付して透析をすることもあり、それでも透析に三三十万円かかり本当に透析は大変だった。

今は、安心して透析ができるようになったが、これからはどうかというところではない。社会保障制度審議会の第一次報告で、財政的には国民の応分の負担などと書かれている。私たちが実現してきた制度がこの

まま行くといえない。そのためには強固な運動を続けなければならぬ。そのもとになる各病院腎友会、今、休会している腎友会もあるが、足元からの運動を強めなければならぬ」と挨拶しました。

このあと来賓の先生方からそれぞれ挨拶があり、各方面からの祝電、メッセージが紹介され、議事へと移りました。

まず、平成四年度活動報告(報告者・森義昭事務局長、同決算報告(同・中田青攻会計)、同決算監査報告が原案通り一括承認されました。

昼食休憩の後、平成五年度活動方針案(提案者・林田洋子常任幹事)が提案されました。①糖尿病患者の透析導入者の増加で「糖尿病患者からの透析患者についての運動を進めます」、②病院腎友会組織の充実をはかり「各腎友会の組織強化をはかります」、③事務

激励ありがとうございます  
ございました

(敬称略)

(来賓)

四谷信子(日本社会党・都民会議 都議会議員団)

河村文生(都議会公明党)

阿部昭作(日本共産党・都議会議 員団)

小川進一郎(腎臓移植普及会専務 理事)

河村真澄(東京難病団体連絡協議 会会長)

(祝電・メッセージ)

東京都衛生局長・中嶋 理

東京都福祉局長・楢垣正巳

東京都労働経済局長・井上修一郎

都議会自由民主党幹事長

財団法人腎研究会

財団法人日本透析医学会長

腎研クリニック院長 稲生綱正

医療法人社団心志会府中腎クリニック理事長 越野正行

医療法人社団東仁会理事長 杉崎弘章

扶桑薬品工業株式会社取締役東京 善本勝男

局体制の充実をはかるとともに財政が厳しくなってきたので、それを検討するために「財政対策について検討します」などの新しい活動目標を含め、丁寧な提案が行われました。

引き続き五年度予算案、同特別会計予算案(提案者・中田會計)が提案されました。別項の質疑がありました。原案通り拍手多数で承認されました。

また、新年度のスローガン、総会宣言案、泉山会長をはじめとする五年度新役員も原案通り可決承認されました。最後に竹田文夫副会長のさわやかな閉会のあいさつで幕となりました。

総会終了後、「透析患者の骨の病氣」と題して、虎の門病院腎セクター部長小椋陽介先生から記念講演がありました。(次号掲載)

### 質疑応答

#### クローズアップ

意見1 役員の給料をあげてみては

今、こうして安心して治療が出来るのも先代、先々代の役員のおかげです。透析が無料で受けられることを皆さんはご存じだと

思いますが、そういうことが分らないで透析を受けている方がたくさんいると思うのです。

そういう意味においても、この活動が少しでも鈍れば、国会等で問題になっている透析患者の医療費の削減にひびいてくると思っています。

本当は会員全体でやるのが当たり前ですが、役員の方々毎日骨をおつて私たちの代り行っているのですから、活動するためには給料をあげていただいて私は構わないと思います。今日ここで役員の方の給料アップを提案したいと思えます。

#### ンティア

人件費については、従来から全体の予算の中で勘案していくというところが東腎協としての考えになっています。ですから平成三年度のときは専任役員のボーナスが年間三カ月だったのですが、平成四年度のときに二カ月に減らして、

そのかわりに五%のアップはしたというところで、今年度もボーナスは二カ月と非常に少ないです。

あくまでも東腎協の活動の場合基本がボランティア、奉仕精神を

中心にやっていると話しあわれています。役員の日当と交通費の規程がごさいます。しかし、日曜日の会議等はあくまでもボランティアということを中心に、規程はありますけれども交通費だけで、日当等は取らないという申しあわせをしまして進めています。

今年の方針で財政問題を検討するという項目がありますので、なかなか削るものはないのですけれども、もう一度検討して、財政を考えていきたいと思います。

#### 意見2 都庁の会議室の開放を

予算の中の総会会場費が七万五千円と書いてありますが、このところ東腎協の総会は、この場所(戸山サンライズ)で行われているようですが、地下鉄から歩いて分かりにくい。東京都庁、りっぱなものが出来ましてこの中に会議室がたくさんあるのですが、都民のための都庁になっていないと思っています。

都庁というのは新宿西口から障害者は無料のバスが出ていますので、立地条件として大変良いところにあります。一般都民が都庁を使うことはあまりないと思います

支店長・北條彰

染谷淳

多発性硬化症 全国腎臓病患者連絡協議会会長

油井清治

全腎協加盟ノ北海、岩手、宮城、

秋田、山形、福島、茨城、栃木、

群馬、埼玉、千葉、富山、石川、

福井、山梨、長野、岐阜、愛知、

三重、滋賀、京都、兵庫、

鳥取、島根、岡山、大阪、山口、

徳島、香川、愛媛、高知、福岡、

長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、

沖縄、川崎クリニック腎友会

#### ◎寄付

財団法人腎研究会

社団法人腎臓移植普及会

東京難病団体連絡協議会

「わらじや」岡本 暁

〈腎疾患対策推進募金箱〉

千五百円

#### 〈図書販売売上〉

あゆみ(東腎協の二十年) 五冊

歩みとどまらず(全腎協の二十年) 五冊

一九九一年血液透析者(実態調査

報告集) 六冊

東難連(設立二十周年特集) 七冊

が、日曜日ということで会場が借りられるか分かりませんが、その要求のなかに都庁の会議室を開放しろという運動をやっていくことが必要ではないかと思えます。

答2 会議室の開放の要請は今後とりにくむ問題

都庁の会議室を開放しろという要求は都庁を作る前に東腎協が毎年やっています都庁との要請の中で何回もだしているのです。「腎臓病を考える都民の集い」などは今年も都庁のホールをかりてやるが会議室はかりられない。最近はや要請を出してはいますが出していないければならない。

意見3 会員拡大を第一スローガンに

いままで話しをうかがっていますと会員数の問題ですね、お話が予算に集中しているかのようにきこえますけれども、数の多い少ないというのは我々の活動の原点からか問題ですね。数は力なりという言葉がありますが、予算の上でも非常に影響力を与えると同時に外部団体や上部団体に対して、あるいは政治活動をするにしろもすべて数がものをいうと思う

のです。私どものクリニックでも会員の構成比率が半分いくらかいなかです。

皆 恩恵を受けているのですが、こういう団体に入ってもらうことが第一だと思つたのです。底辺を増やすというのが一番大事だと思います。それがうまくいけば予算の問題も活動の範囲も力も強くなるのですから、わたしは会員の拡大が第一スローガンになつても良いと思つた。そしてそのために何をやるかということが、具体的にスローガンにあると良いと思つた。

答3 役員会でも会員拡大を強く進めることで一致

東腎協としては会員拡大委員会というのを作つてやっています。全腎協も四月を組織拡大月間というのを決めてやっています。そして、東腎協の中でも各役員が個人会員で会のない人とコンタクトをとりながら一腎友会として増やそうという運動も取り組んでいきます。

会員拡大について、今年度は強く運動を進めるとすることで役員会の方針も出ていますし、決議もありません。

ほかに次の意見がありました。

財政対策について  
①機関誌に広告を載せてみては  
②支出で、もっと節約できるところがあるのでは  
③会費を五千円にあげたらどう

その他意見、質問として

①東京都の患者数、東腎協の組織率は  
②無関心層の人たちを東腎協に引き込むには

## 新副会長に中田氏 新会計に本間氏

（主な役員紹介）

会長 泉山 知威

副会長 （すずらん腎友会）

一ノ清 明

（東高円寺フエニックス会）

木村 妙子

（上野しのばず会）

高橋 勇二郎

（西新井病院腎友会）

竹田 文夫

（国分寺南口クリニック観光会）

中田 青攻

（嬉泉病院ニレ友の会）

柳 光夫（サポテン会）

一ノ清、高橋、柳副会長は全腎

協担当副会長

事務局長 森 義昭（専従）

（人工腎臓虎の門・高津会）

事務局次長 草間 和男（専従）

（腎研友の会）

会 計 本間 正良

（大橋クリニック友の会）

常任幹事

糸賀久夫（松和患者会西新宿）

井上幸枝（吉祥寺クリニック）

岩本美津枝（あけぼの友の会）

榎本満次（大田病院腎患者会）

軽部和之（立川腎クリニック）

金子 智（松和患者会目白）

川島桂輔（三鷹北口病院腎友会）

北爪 勇（湯島腎友会）

小泉佐内（杏林腎友会）

林野栄夫（あけぼの友の会）

林田洋子（聖蹟さくら会）

堀 和正（上野しのばず会）

森田広明（森山病院友の会）

山田秀行（今尾医院腎友会）

吉田英和（調布東山病院）

吉本義行（大山腎友会）

会計監査

飯塚行雄

（多満ビル診療所ひまわり会）

鈴木和雄

（国分寺南口クリニック観光会）

## 平成4年度決算報告

(自H4.3.1～至5.2.28)

(単位：円)

	科目	予算額	累計	%	備考
収入の部	会費	21,000,000	20,751,350	98.8	期首会員数4,990人、期末会員数5,050人
	寄付金	170,000	713,555	419.7	總會時寄付金、扶桑薬品ほか
	雑収入	220,000	375,714	170.7	定期預金利息、コピー代、書籍販売手数料ほか
	小計	21,390,000	21,840,619	102.1	
	前期繰越	1,238,857	1,238,857	100.0	
	合計	22,628,857	23,079,476	102.0	
支出の部	会議費	1,450,000	1,379,343	95.1	
	總會費	700,000	716,111	102.3	總會議案書、弁当代、会場費ほか
	役員会費	320,000	301,023	94.0	常任幹事会交通費
	全腎協関係費	300,000	253,049	84.3	總會交通費補助、関東ブロック会議参加費ほか
	20周年実行委員会費	50,000	0	0.0	
	その他	80,000	109,160	136.4	各委員会、三役会
	交流会費	500,000	361,376	72.3	各ブロック交流会
	印刷費	2,100,000	2,337,065	111.3	
	会報費	1,650,000	1,652,010	101.1	機関誌印刷代(№93～№96)ほか
	その他	450,000	685,055	152.2	コピー用紙、封筒・名刺印刷代、印刷材料ほか
	役員行動費	730,000	565,880	78.1	
	事務局費	3,010,000	3,099,161	103.1	
	事務所管理費	1,440,000	1,440,000	100.0	家賃、光熱料
	通信費	870,000	1,062,995	122.2	電話料金、文書・会報発送料ほか
	備品費	620,000	508,305	82.1	ワープロ、印刷機リース料、保守料ほか
	事務用品費	50,000	59,401	118.0	事務用消耗品
	新聞図書費	30,000	28,460	95.0	都政新報購読料ほか
	人件費	5,464,800	5,519,160	101.0	
	給料	3,920,000	3,920,000	100.0	専従事務局長、事務局次長
	退職積立金	280,000	280,000	100.0	
アルバイト料	1,122,800	1,177,280	104.8	アルバイト2人分ほか	
通勤交通費	142,000	141,880	99.9	専従事務局員2人分	
諸会費	9,021,750	8,799,585	98.3		
全腎協	9,000,000	8,775,000	98.0	全腎協分担金(3月～2月)12カ月分	
東 難 連	10,000	10,000	100.0	4年度会費	
身 定 協	11,750	14,585	124.1	4年度会費	
雑費	102,307	59,200	58.0	事務所消耗品ほか	
小計	22,378,857	22,120,770	99.0		
予備費	250,000	0	0.0		
合計	22,628,857	22,120,770	98.1		
繰越		958,706			

## 平成4年度特別会計決算報告

(自H4.3.1～至H5.2.28)

	科 目	金 額
収入の部	1. 前期より繰越	8,673,999
	2. 20周年協賛金	4,025,646
	3. 祝賀パーティー祝金	120,000
	4. 「あゆみ」145冊	145,000
	5. 国会請願募金	3,720,758
	計	16,685,403
支出の部	1. 記念誌「あゆみ」	2,159,172
	2. 総会シンポジウム	215,869
	3. 会員拡大(20周年入会のしおりほか)	314,682
	4. ゲーム大会	285,129
	5. 祝賀パーティー(祝う会)	293,094
	6. 実態調査(調査用紙ほか)	583,009
	7. ブックレット	5,448
	8. 会員証	121,540
	9. 都民の集い(H4.6.28)	164,297
	10. 腎キャンペーン	294,499
	11. 全腎協20年誌	39,000
	12. 国会請願募金納入金	1,177,000
	13. 特別会計通信費	299,373
	計	5,952,112
	繰越金	10,733,291

## 平成5年度特別会計予算案

(自H5.3.1～至H6.2.28)

### 収入の部

1. 前期繰越	10,733,291
合計	10,733,291

### 支出の部

1. 腎キャンペーン	300,000	腎移植推進キャンペーン
2. 第7回都民の集い	200,000	講師謝礼、役員交通費ほか
3. 第5回、6回都民の集い報告集	600,000	40P、6,500部
4. 実態調査	600,000	20周年
5. 腎臓病の解説書	900,000	
6. コピー機購入	400,000	
7. 特別会計通信費	250,000	署名用紙、集い、キャンペーン案内発送
8. 一般会計繰入金	650,000	
合計	3,900,000	

(注) 平成5年度全腎協国会請願署名募金運動、JPC(日患協)国会請願署名募金運動が行われる場合は、それに必要な経費は特別会計から支出し、納入された募金については特別会計の収入とさせていただきますことをご了承下さい。

## 平成5年度予算

(自H5.3.1～至H6.2.28)

単位：円

科 目	4年度予算額	4年度実績	5年度予算額	% 増減比	% 前年比	備 考
会 費	21,000,000	20,751,350	21,000,000	91.3	0	4,200円×5,000人
収 入						
寄 付 金	170,000	713,555	170,000	0.7	0	社会奉仕、助成金
雑 収 入	220,000	375,714	220,000	1.0	0	雑収入科目
の 小 計	21,390,000	21,840,619	21,390,000	93.0	0	
部						
前 期 繰 越	1,238,857	1,238,857	958,706	4.2	-22.6	
特別会計繰入金	-	-	650,000	2.8		
合 計	22,628,857	23,079,476	22,998,706	100	+1.6	
支 出						
会 議 費	1,450,000	1,379,343	1,430,000	6.2	-1.4	
総 会 費	(700,000)	(716,111)	(700,000)			定員3000円×3000人=2400円、議費費32万円、事務費5万円 会費費7.5万円、雑収入-定員費-700円×5=3500円-700円×4
役員会費	(320,000)	(301,023)	(320,000)			幹事会2回6万円、常務11回22万円、会費
全 賢 協 関係費	(300,000)	(253,049)	(300,000)			贈金10万円、購買費13万円、購買費年次贈金5万円、幹事会2万円
20周年実行委員会費	(50,000)	0	-			
そ の 他	(80,000)	(109,160)	(110,000)			
交 流 会 費	500,000	361,376	300,000	1.3	-40.0	基金助成、三善会 6回交流会55 7000円×支費金10万円、学習交流会12万円、費年費3万円
印 刷 費	2,100,000	2,337,065	2,300,000	10.0	+1.4	
会 報 費	(1,650,000)	(1,652,910)	(1,800,000)			50万円×1冊 41万×3冊、700円×1冊×3、7万×3冊×4冊、編集会費-施設費等
そ の 他	(450,000)	(685,055)	(500,000)			各種資料、会議資料等、印刷、紙類、印刷材料等
役員行動費	730,000	565,880	730,000	3.2	0	役員行動費、旅行費、基金助成、購買費、買取委託委託金等
出 務 旅 費	3,010,000	3,099,161	3,131,704	13.6	+4.0	
事務所管理費	(1,440,000)	(1,440,000)	(1,440,000)			購買費熱費125万円×12月
通 信 費	(870,000)	(1,062,995)	(1,100,000)			電話料、郵便費(伝真機、全額)：市内：報告書、全額電話料等 7000円×1000円×416回、7000円×1000円×17,201回 経費削減-16円18,025円
贈 品 費	(620,000)	(508,305)	(511,704)			
事務用品費	(50,000)	(59,401)	(50,000)			事務用品材料等
新聞図書費	(30,000)	(28,460)	(30,000)			
人 件 費	5,464,800	5,519,160	5,760,000	25.1	+5.4	
給 料	(3,920,000)	(3,920,000)	(4,116,000)			事務員178,500円×14、事務員115,500円×14
退職積立金	(280,000)	(280,000)	(294,000)			178,500円+115,500円 (193,700円+事務員840円)×240人 特別費29,800円×28×2人
アルバイト料	(1,122,800)	(1,177,280)	(1,208,000)			
通勤交通費	(142,000)	(141,880)	(142,000)			事務員178,500円×14×通勤交通費
雑 会 費	9,021,750	8,799,585	9,021,750	39.2	0	
全 賢 協	(9,000,000)	(8,775,000)	(9,000,000)			1,800円×5,000人
東 郷 連	(10,000)	(10,000)	(10,000)			
身 定 協	(11,750)	(14,585)	(11,750)			
雑 費	102,307	59,200	75,252	0.3	-26.4	雑費等
小 計	22,378,857	22,120,770	22,748,706			
予 備 費	250,000	0	250,000	1.1		
合 計	22,628,857	22,120,770	22,998,706	100	+1.6	
次 期 へ 繰 越		958,706				

# 事務局から

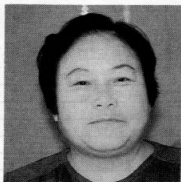
## 石川みさ事務局次長

### 逝去される

東腎協事務局次長の石川みささんは三月四日、くも膜下出血で急逝されました。

石川さんは一九八一年より東腎協常任幹事を務め、八八年十月から事務局に週二回一三回アルバイトとして働いていました。九〇年からは事務局次長として活躍されました。

生前の石川さんのご活躍に敬意を表すとともに、慎んでお悔み申し上げます。



石川みささん

「芳志ありがとうございました」

あけぼのクリニック桑田実様

暫く土曜日は事務局を

休ませていただきます。

石川さんの逝去に伴い、次のような事務局体制で運営させていただきます。

月	火	水	木	金	土
森	森	森	森	森(隔週)	休
広瀬	草間	広瀬	草間	草間	
				広瀬(隔週)	

\*勤務時間 9.15～17.00

\*森事務局長、草間事務局次長、広瀬アルバイトのほか常任幹事数人がつめています

だくことになりました。ご協力よろしくお願い致します。

平成五年度

会費納入のお願い

東腎協の会費は健全財政確保のため、原則として年初に納入していただいております。平成五年度会費一人四千二百円(全腎協千八百円を含む)を納入していただくようお願いいたします。

なお、郵便振替での納入については郵便局発行の振り込み控え(受領証)をもって領収証とさせていただきます。新規入会者には、昨年の二十周年を記念して作成した二十年誌「あゆみ」を無料で配付しますので、会費の納入の際に新規会員の人数をお知らせください。

腎臓病を考える

都民の集い

日時 6月13日(日) 1時!

会場 都庁・都民ホール

青年部がバスハイク

☆日時 9月12日(日)

楽しい企画を準備中です。ふるっての参加をおねがいします。

東難連が20年誌発行

東京難病団体連絡協議会(略称東難連)は設立二十周年を記念して記念誌を発行しました。昨年七月に行なわれた記念シンポジウム「これからの健康生活のために、インフォームドコンセントは今」を中心にまとめたものです。頒価は五百円です。問い合わせは事務局まで

新入会員紹介

よろしく

柳沢淳・原田昭子・品川妙子・加藤清孝・倉橋定至・佐藤元紀・秋元知子・富田郁・中井真理・佐藤修一・阿部広行・林昇一・青木勝・鈴木純子・笠利尚・木村孝  
松村クリニックさくら会(20人)  
〒193 八王子市千人大町2-120-12  
クローバービル4F  
松村クリニック内

〈編集後記〉

総会が終え、すぐに入稿。いつも四月号は忙しい。花見でいっぱいもことわって、どうやら編集を終えた。これで楽かと思うと大間違い。会員拡大が急務だ。(草間)